

医療と介護の連携

「あ・うんネット周南」

周南市には、『あ・うんネット周南』という医療と介護の連携・協働の深化を推し進める団体があります。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、社会福祉士、理学療法士、訪問介護員、介護福祉士、介護支援専門員、行政、社協の代表者で構成されています。これまで全体会やワーキングを実施し、医療・介護の連携強化のための具体的な取組について話し合っています。当協会からも数名の会員が出席しています！



2015.10.17(土) 周南市学び交流プラザ

「認知症カフェ研修会」

京都認知症カフェ連絡会事務局長 川北雄一郎 さん

認知症カフェの意義・役割や具体的な運営方法、課題など事例を交えながら分かりやすく教えてくださいました。認知症のご本人とご家族を中心に据えること、認知症(特に初期の認知症)を正しく理解することがとても大切だと学びました。



平成 27 年度研修会

「地域包括ケアのまちづくり～人を地域を社会を変えるチームスピリット～」

国際医療福祉大学大学院教授 堀田 聡子 先生



地域包括ケアシステムという漠然としたイメージを整理しながら分かりやすく教示され、自分の地域で作っていく考え方を持続可能なモデル事例を交え、お話しされました。講演後は、つづみ園で周南市の地域包括ケアに関する取組についてセッションしました。木村市長も駆けつけてくださいました。



ケアマネカフェ『ENSEMBLE(アンサンブル)』 2016.7.15(金) 新南陽総合福祉センター&つづみ園

アンサンブルには、『共に』という意味があり、ケアマネジャー同士でつながろう、成長し合おうという思いを込められています♪その思いどおり、参加された皆さんは、美味しいオリエンタルコーヒーとケーキに舌包みを打ちながら、笑顔でまた時には真剣に話に花を咲かせていらっしゃいました。

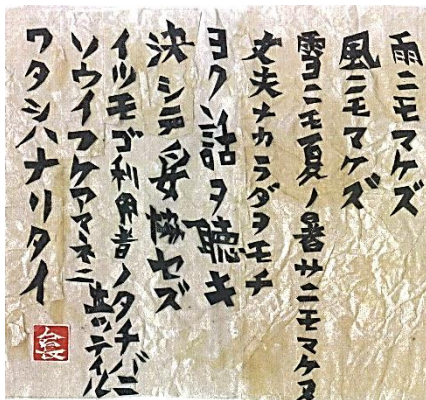


ケアマネ支援



周南市介護支援専門員協会の目的は…？ 周南市介護支援専門員協会規約第3条

「本会は、介護支援専門員の倫理の確立、専門的技能の研鑽、交流の促進を図り、もって介護支援専門員の資質と社会的地位の向上に努めるとともに、保健・医療・福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護及び地域福祉の増進並びに介護保険制度の円滑な運営に寄与することを目的とする。」
当協会は、この目的を果たすために様々な活動を行っています。



会員募集

当協会では、これからも皆様のお役に立てるよう取組を行っていきたく考えております！是非、ご入会をお願い致します。

平成 28 年度研修会 2016.10.8(土) 徳山大学

「周南圏域介護支援専門員研修会 2016」

佐々部清講演会 ～優しい時間～

下松市協会、光市連絡協議会と協働で、佐々部清監督の講演会を開催しました。映画づくりの大変さや面白さなど、たくさんのお話を聴くことができました。その中で、10月29日公開の『八重子のハミング』の原作の一文が印象に残っています。「怒りには限度があるけど、優しさには限度はない。」



参加された皆さんと優しい時間を共有することができました。佐々部監督、本当にありがとうございました。

◆編集後記◆ 会長 藤本真樹

研修カリキュラムが大きく変わり、介護支援専門員への期待は高まる一方で、その仕事は多様化・複雑化しています。日々、頭を悩ませ、心を痛めながら、利用者の自己実現に向け力を尽くしていらっしゃる皆様には、頭が下がる思いでいっぱいです。

そんな会員の皆様に、当協会がどのような発信をしてきたか、この2年間を少し振り返りまとめてみましたので、ご覧いただければと思います。今後も役員が丸となって、有益で楽しめる企画を実施したいと考えていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。